



2019. 11. 1. №1390
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. JF全漁連漁協運動功労者表彰 — JF全漁連 —

JF全漁連は、9月19日開催の理事会において、2019年度漁協系統功労者表彰の受賞者71名、漁業振興功績者表彰受賞者37名を報告し、本県においては、高田充朗氏（本会代表理事副会長、JFいとう代表理事組合長）が、水産資源の保護、回復に関する取組や漁協の育成指導等に尽力した功績により漁協運動功労者表彰を受賞しました。

また、漁業振興功績者表彰には、鈴木精氏（一本釣漁業（キンメダイ）、JF伊豆）、福世準一氏（シラス2そう船曳網漁業、JF南駿河湾）の2名が受賞しました。

なお、表彰式は11月22日（金）如水会館（東京・千代田区）において執り行われます。

ここに、3氏に心よりお喜び申し上げ、今後一層のご活躍を期待いたします。

2. イノベーション対策支援推進事業採択審査委員会を開催 — 指導部 —

本会指導部では、10月18日（金）静岡中央ビルにおいて、イノベーション対策支援推進事業（三次募集）の採択審査委員会を開催しました。

この事業は、水産業者等が行う水産振興、水産資源の管理若しくは増殖又は人材確保に関する工夫又は改善による新たな取組を促進する経費の助成等の支援を実施することにより、本県の水産業及び水産関連業の健全な発展を推進することを目的としております。

採択審査では、5名の外部専門家により、①要件審査（資格要件及び事業要件）、②事業有効性審査（生産イノベーション計画書の評価及び事業計画書の評価について8つの項目ごとに5点満点の評価による採点）について審査された結果、12件の事業申請が採択されました。

今年度交付決定した事業は、合計で66件（一次28件、二次26件、三次12件）となり、漁業者（漁協を含む）32件、水産加工業者29件、水産流通業者等5件の申請者が、水産振興や資源管理等の取組を実施しています。

3. サクラエビ秋漁の水揚げ — 静岡県桜えび漁業組合 —

静岡県桜えび漁業組合では、10月23日（水）記録的不漁が続く駿河湾産サクラエビの秋漁を2年ぶりに解禁し、10月24日JF大井川港漁協・JF由比港漁協の両市場で初競りが行われました。

JF大井川港漁協所属の約40隻が、駿河湾南部で漁獲可能ラインとした親エビ（体長35ミリ以上）が、30%以上確認できた大井川沖から相良沖を中心に操業を行い、水揚量は約2.5トン、両市場の1ケース（15キロ）当たりの平均取引価格は、今年の春漁初日を約1万5千円下回る約8万6千円となり、JF由比港漁協市場での最高価格は12万4千円と、秋漁の最高

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

価格を記録しました。

今年度の秋漁は自主規制を設けて、駿河湾全体を湾奥、中部、南部に分け、漁獲できる親エビの割合をそれぞれ75%以上、50%以上、30%以上と設定し操業を行っていますが、主な産卵場の湾奥（富士川沖）において、卵の数が大幅に減少するなど漁況は改善されていないため、12月23日までとしている漁期を前倒しで終了する可能性もあります。

4. 南駿河湾漁協 御前崎女性部がJF全漁連会長賞受賞 — JF全国女性連記念式典 —

JF全国女性連は、10月2日（水）ホテルグランドアーク半蔵門（東京・千代田区）において、「JF全国女性連設立60周年記念式典」（本県から5名参加）を開催し、優良漁協女性部および若手漁村女性の表彰を行いました。

式典は、國分豊子JF全国女性連会長から「新たな発想や変化には柔軟に対応できる不易流行を実践できる女性部として漁業や地域の発展、活性化に尽力して参りたい」旨の挨拶に続き、山口英彰水産庁長官からは「漁村女性を中心となり取り組む各種活動を引き続き応援していきたい」旨の来賓挨拶がありました。

表彰では、水産庁長官賞5団体、農林中央金庫理事長賞5団体、JF全漁連会長賞12団体、東京水産振興会会長賞3名に各賞が授与され、本県からは南駿河湾漁協 御前崎本所女性部が、漁協運動の推進等永年にわたり積極的な実践活動が漁村社会の発展に貢献した功績が認められ、JF全漁連会長賞を受賞しました。

5. 2019年度シーフード料理コンクールを開催 — 県おさかな普及協議会 —

県おさかな普及協議会では、9月28日（土）県男女共同参画センターにおいて「2019年度シーフード料理コンクール」の実技審査会・表彰式を開催しました。

このコンクールは、テーマを「第2弾！ふるさと自慢 おもてなし魚料理」として、県内在住の方々を対象に、県内で水揚げされる魚介類や海藻類を主材料としたお手軽な一品料理や地域に伝わる郷土料理などを参考に、ご自身のアイデアあふれる魚料理を（レシピ）を募集したものです。

実技審査会には、応募のあった205作品のうち、書類審査会（一次審査）で選考された4作品の入選者（当日1名欠席）が出場し、料理の腕を競い合いました。

その結果、星野圭唯（県立藤枝北高）さんが創作した「太刀魚とみかん香 パパッとパエリア」が、味のバランスや独創性・普及性が評価され最優秀賞（県おさかな普及協議会長賞）に輝きました。

本紙は、県内の漁業振興を目的に（公財）静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう